



映像クリエイティブによる 「づづづのやいづクラブ」活性化計画案

————— 2027年3月に向けた、共感と拡散のロードマップ



市外出身クリエイターの 視点で焼津の魅力を伝える

映像制作のプロとしての強みを活かし
焼津の隠れた魅力を引き出します。

■ミッション

地元の方には日常となっている
焼津の「感情を揺さぶる」風景や体験を映像として
発信する

■目的

映像という強力なツールを使い
焼津市の「関係人口」の拡大とファン化に寄与する

ファンクラブ活性化に向けた3つの戦略



体験の可視化

既存ミッションの魅力を
映像で100%伝える



外部流入の創出

インフルエンサー・
クリエイターを巻き込む



次世代への定着

高校生との連携による
持続可能な仕組みづくり

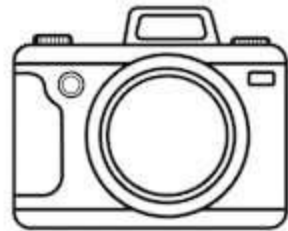


戦略01 | 体験の可視化

見えなかった魅力を「映像」で直接届ける



映像の力でミッション参加へのハードルを下げる



体験の映像化

- 藁焼き、お茶レンタルキット等の「ミッション」紹介動画を制作
- 活動内容を直接的に伝え参加へのハードルを払拭

目標：ミッション参加者
延べ20人/月以上の安定的な達成。



新ミッションの継続開発

- ファンクラブのミッションを1件/月のペースで追加
- ポイントで交換する景品の継続的開発
- ご協力いただく事業者様へ映像制作についての講習を行いよりご協力いただきやすい状態を作る

戦略02 | 外部流入の創出

クリエイターの拡散力を用い、市外へリーチする



有名SNSアカウントとのタイアップで 外部に向けて一気にリーチ



有名アカウントとのタイアップ

訴求力の高いSNSアカウントから発信



市外の潜在へ一気にリーチ



ファンクラブへの関心を高める

※タイアップ先はファンの分析を進めたうえで決定



外部クリエイターへ向けて

- ・市外クリエイターを焼津に招致し
滞在しながら作品を制作・発信
- ・多様な視点での焼津の再発見し
流行に敏感な層への来訪意識を高める

戦略03 | 次世代への定着

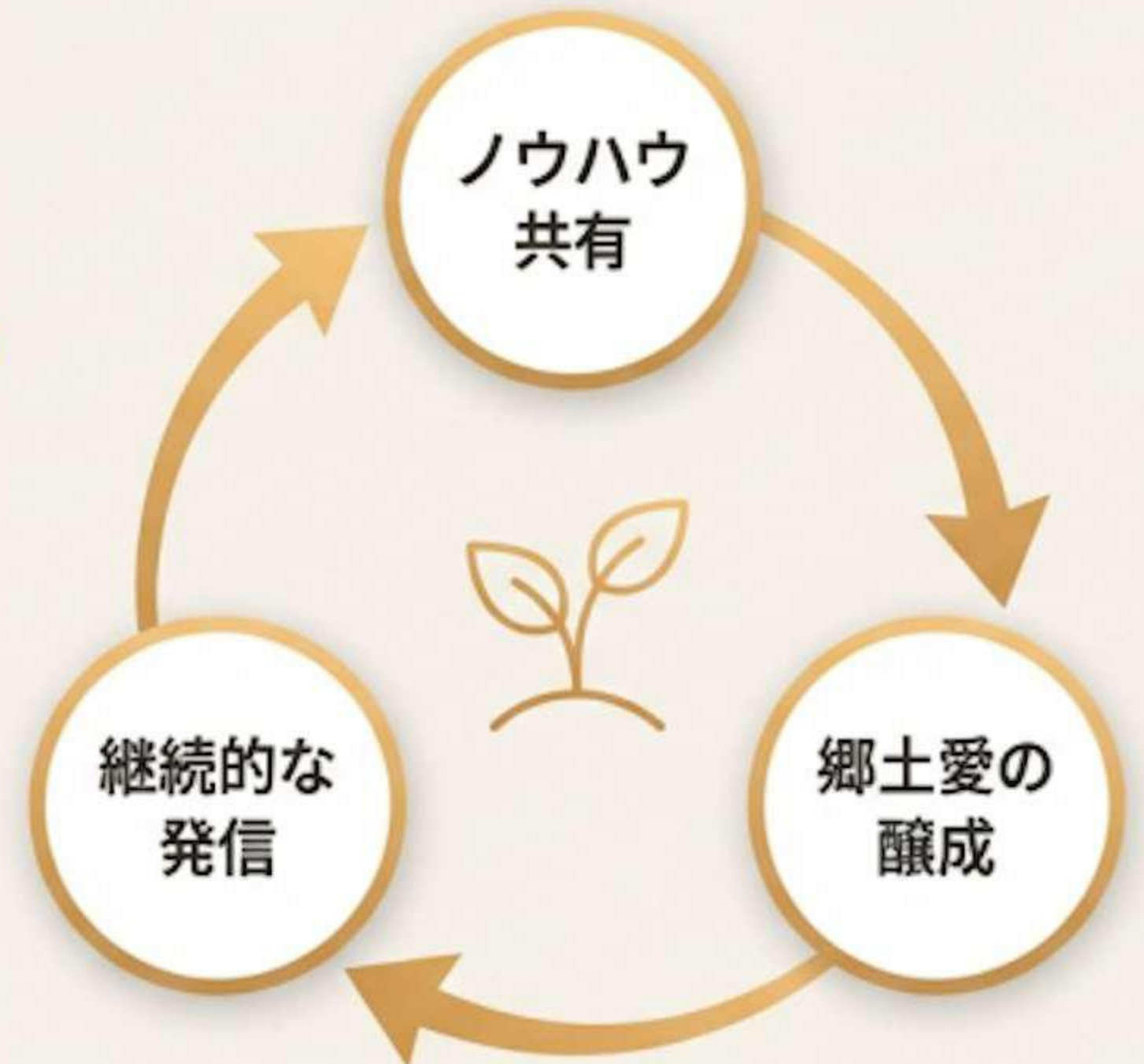
一過性のブームで終わらせない
持続可能な発信の土壌を作る



地元の方へ映像ノウハウを継承し、郷土愛を育む

アクション:教育機関との連携

- 地元の高校生と連携し、プロの動画制作や発信のノウハウを共有・定着させる
- 狙い:若者の郷土愛を深め、外からの視点だけでなく「地元の人間だからこそ撮れる深い魅力」を継続的に発信できる土壌を構築する。



2027年に向けた、拡散のロードマップ





映像を共通言語に 焼津の未来をファンと共に作る好循環へ

「映像」という共通言語を通じて、焼津市と市外のファンを架け橋に。
関係人口を単なる維持ではなく「熱量の高いファン」へと昇華させ
焼津の未来を共に作る環境を目指します。